

(1) 本時の目標

「綾」の心情の変化を読み取り、作品から感じたことをまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

【思】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。

時間	学習活動・児童の反応	☆指導上の留意点 ◎支援	評価規準（評価方法）
5分 課題把握	<p>○前時までの内容をふり返る。 広島での綾の心情をふり返る。 ・信じられないことばかり ・戦争の遺物が語りかけてくるよう ・おばあさんとの会話, 涙 ・「アヤ」やたくさんの人たちの夢や希望</p> <p>○学習課題を知る。 <b>◎綾の心情を読み取り、作品から感じたことをまとめよう。</b></p>	<p>☆前時までに学習してきた広島での出会いを通して感じた「綾」の思いを想起させ、「綾」の心情の変化についての自分の考えを確認させる。</p> <p>◎前時までのノートや掲示物、ロイロノート（前時の板書）をふり返りに活用する。</p> <p>☆めあてを書き、本時の学習課題であることを意識させ、見通しを立たせる。</p>	
10分 自力解決	<p>○黙読する。</p> <p>○川を見て感じた「綾」の心情を考える。 ・平和な川になった ・おそろしい川の時もあった。（平和と戦争） ・おばあさんの言葉や涙を思い出している。（広島での出会い） ・亡くなった人の分まで精一杯生きていきたい。（これからの未来）</p>	<p>☆黙読の際にも、これまでの学習で自分が『綾の心情』に関するキーワードだと思う言葉や、グループやクラスで話し合ってきたことを意識させ、読ませる。</p> <p>◎これまでグループで話し合ってきたことや前時までのノートや板書を活用するように声かけをする。</p> <p>☆これまでの「綾」心情が変化するきっかけになったことやその時の「綾」の気持ちを、叙述を基に考え、自分の言葉で表現させる。</p>	<p>【思・判・表】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（記述）</p>
20分 集団解決	<p>○グループで話し合う。 相手の意見に対する考えや疑問を基に話し合う。 綾の心情 → 作品から感じたこと</p> <p>○全体で話し合う。 「綾」の心情について話し合う。 《自分の考えを伝え、他者の考えと比較し、考えを広げる》 ・広島での出会いを通して、「綾」が感じたこと 心情の変化 <b>恥ずかしくなった</b> ・夢や希望をもっていた子がいたことなど考えたこともなかった。 ・自分は何も知らなかった。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「綾」の心情や作品から、自分たちの生き方につなげて考えることができる。</p>	<p>☆他者の解釈との共通点や相違点に気づく対話、自分の読みを更新していく対話を通して、様々な考えに触れ、自分の考えを広げられるようにする。</p> <p>☆「なぜ、綾がそう思ったのか」を話し合いの軸に、グループ交流をさせる。</p> <p>☆児童から出た意見から最後の場面での「綾」の心情を考えていかせ、読みや考えを広げさせる。</p> <p>◎綾の心情から作品から感じたこと、作品が伝えたいことにつなげていく。「綾」の心情やのねらいに関連する言葉などキーワードを板書する。児童同士の話し合いの軌道修正、補助発問も適宜入れる。</p> <p>☆ハンドサインを使い、児童同士で意見をつなぐこと、他者の考えに対する質問で考えを深めることを意識させる。</p> <p>◎グループでの話し合いで出た質問も全体で出すように促す。</p> <p>☆児童から出た意見をつなぎ、本時の授業で感じてほしいポイント（自分たちの生き方につなげて考える）に近づける。</p>	<p>【思・判・表】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、考えを広げている。（発表・記述）</p>
10分 ふり返り	<p>○学習をふり返る。</p> <p>B・□□さんの綾が忘れられないようにしたいと思ったという意見に似ていました。たくさんの人が亡くなった戦争はおそろしいものだと改めて思いました。</p> <p>A・〇〇さんの綾の気持ちは広島で見たもの、聞いたことで大きく変わり、亡くなった人たちのことを忘れずにいたいと思うことができたという意見に共感しました。そのような人たちがいたことを私も忘れず、これからの社会につなげていくことが大切だと感じました。</p> <p>・☆☆さんの知らないことが恥ずかしいという意見に納得しました。広島での綾のように、自分自身も様々なことをこれから学んでいきたいと思いました。戦争で苦しい思いをした人の思いを知ることが人の命を守ることになるのではないかとこの作品から学びました。</p>	<p>☆ふり返りの時間を設ける。</p> <p>☆本時のまとめとして、話し合いを通して感じたことを書かせる。その際、他者の考えからうまれた新たな気づきや疑問、変容を意識させ、自分の考えをまとめさせる。</p> <p>◎ふり返りを書くことに苦手意識のある児童には、自分の考えをまとめる手立てとして、板書や前時までの学習の掲示物、ふり返りカード（ロイロノート）を参考・活用させながら支援を行う。</p>	<p>【思・判・表】 作品から伝わってくるものや感じたことなど、他者の意見を受けての自分の考えをまとめている。（記述）</p>